

平成27年7月13日月曜日 第2校時

生徒数

授業者

1. 題材名「働く上で必要な力ってなあに？」

～職場体験で学んだことを自己変革に活かそう！～

2. 題材について

○題材観

社会環境の変化の著しい現代社会において、生徒たちが夢や希望を持って自らの未来を切り拓いていくためには、自己の生き方を主体的に考えることが大切である。また、この時期の生徒は、興味・関心が自己から他者、社会認識へと広がる途上にあり、人間関係・社会形成能力を身に付けることができる時期でもある。そこで本校の2年生では、社会における自らの役割や将来の生き方・働き方について考えてもらうために、職場体験学習を行っている。本題材はその職場体験活動後の「生徒間の体験の共有化」である。職場体験活動で実感した将来働く上で必要となる能力や資質に注目し、その力を伸ばすためにどのような役割を果たすべきかを考えさせる中で、学校生活や家庭生活での学びが将来とつながっていることを考えさせたい。そして自己変革の意識を高め、その後の行動変容にも影響が出ることを期待している。

○生徒観

本校の2年生は活発な生徒が多く、行事などには積極的に参加しみんなで協力できる学年である。しかしその一方、他者に対する配慮や周囲のために役割を果たそうとする行動については、まだまだ課題が残っており、人間関係形成・社会形成能力の力をつけていかなければならない。また将来の夢や希望などについてもあまり意識をしていない生徒も多く、この職場体験学習を通して働くことの意義や、学びと将来のつながり、社会における自己の役割などに気づかせ、主体的に自己を伸ばそうとする生徒を育てたい。

○指導観

教師が教えるのではなく生徒の力で課題に向かい、主体的な学習をしてもらうために2つの思考場面を設定した。1つは「働くうえで必要な力」を見出すことで、自分の体験したことが現在の学び、そして将来とつながっていることを感じてもらいたい。もう1つは自己分析による自己理解で、座標軸を使った思考ツールを用意した。自己のよさや課題を認識することで、自己を成長させるための行動目標を具体的に示し、そして行動変容につなげたい。

そして今回教材「未来スイッチ」を「働く上で必要な力」の精選・集約に使う、生徒は能力について知らないことも多く、生徒の言葉で具体的に説明できる能力もあれば、そうでないものもある。また本当に必要とされる能力があげられないことも予想される。そのためにこの資料を用いることで、実際に働いている人の言葉や情報をたよりに社会で求められる能力に注目させたいと考える。

3. 本時の指導

(1) 本時の目標

- ・「働くうえで必要な力」を認識し、自己変革に活かそうとする態度を育てる。

(2) 本時の評価規準（キャリア教育からの視点）

評価の観点	自己理解・ 自己管理能力	人間関係形成・ 社会形成能力	課題対応能力	キャリアプ ランニング能力
評価規準	自己分析をすることで、自 分のよさや課題を理解しよ うとしている。	他者の意見に傾聴し、建 設的な話し合いをしよう とする。	自己変革のために今後の行 動目標を具体的に示そうと する。	学校でのまなびと将来のつ ながりについて考えようと している。

(3) 準備物

・ワークシート・付箋紙・ホワイトボード・電子黒板・ノートパソコン

(4) 学習の展開

	学習活動	指導の留意点	評価規準・評価方法
導入 5分	・職場体験を振り返る。	・職場体験の写真や動画を見せ、体験を思い出してもらおう。	
展開 40分	働く上で必要な能力って何だろう？ ・職場で出会った人から学んだことを付箋紙（大）に書く ・書いたことを紹介する。 する。 ・出た意見をまとめ、ホワイトボードに記入 ・各班で発表する ・将来就きたい仕事について考え、その仕事で必要だと思う力を選び付箋紙（小）に書く。 ・自己分析シートに付箋紙を貼り、自己分析を行う。 ・これからの目標を書く。	・職場の人から直接教えてもらったことや、その人の行動から学んだことの中には、働くうえで必要な力が隠されていることを伝える。 ・同じような意見のものをまとめさせる。 ・明確な能力で示しにくいものは、そのまま発表しても構わないことを伝える。 ・自己の将来と結びつけた能力を選ぶことで、真剣に自己分析を行う動機づけとする。前に貼られているホワイトボードと教材「未来スイッチ」を参考に将来に生きる力（能力）を精選させる。 ・自己分析を行うことで、自己の強みや弱み、得意や苦手などを認識し、今後の課題や成長について考えさせる。 ・自己分析シートに貼られた座標の位置から能力をどのように伸ばすかを考えさせる。 ・能力を獲得するための行動について具体的に書いた目標になるよう確認させる。	・他者の意見に傾聴し、建設的な話し合いをしようとする。 (人間関係形成・社会形成能力) ・自己分析をすることで、自分のよさや課題を理解しようとしている。(自己理解・自己管理能力) ・自己変革のために今後の行動目標を具体的に示そうとする。 (課題対応能力)
まとめ 5分	・発表	・近くの友達に目標を紹介させる ・いくつか選び授業者が紹介する ・学校生活や家庭生活、そして社会生活の中には自分を伸ばしてくれる場がたくさんあり、そこに積極的に関わり役割を果たすことが大切であることを伝える。	・学校でのまなびと将来のつながりについて考えようとしている。 (キャリアプランニング能力)